

医療福祉専門職のための

デザイン思考プロセスを用いた 支援機器開発ワークショップ

支援(福祉)機器は、生活面で支援が必要な障害者だけでなく、支援者側を含めたさまざまな人が使用します。リハビリテーションロボットや介護ロボットなど、近年の支援機器開発は目覚ましい発展を遂げています。しかし、製品が上市に至るには、優れたシーズであるだけでなく、製品化ニーズ、臨床ニーズとの合致に加え、安全性・有効性、事業性など、さまざまな要件を備えなければなりません。

本ワークショップでは、スタンフォード大学発の医療機器開発に特化したバイオデザインプロセスを支援機器に応用し、初期の段階から事業化を見据えた製品の開発方法について学びます。

日時

第1部

2021年 **10月9日** (土) 13:30 - 14:30

定員 **40** 名 (セミナー) バイオデザイン手法の紹介

参加費
無料

第2部

2021年 **10月10日** (日) 13:00 - 16:00

(ワークショップ)

定員 **15** 名 バイオデザイン手法を応用した
支援機器開発手法を学ぶ

会場

全てオンライン開催

*本ワークショップは、厚生労働科学研究費(障害者政策総合研究事業)「障害者の支援機器に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル構築に資する研究」の一部として実施されます。そのため、ワークショップ前後にアンケート等にご協力いただける方を対象とさせていただきます。尚、アンケート結果は本研究成果として倫理規定に則り発表する可能性がありますので、同意いただける方を対象とさせていただきます。

講師

原 陽介 (医師)

(株式会社ライフトゥデイ 代表取締役)
(ジャパンバイオデザイン
アシスタントファカルティ)



柿花 隆昭 (理学療法士)

(東京大学医学部附属病院
心臓外科特任研究員)



問い合わせ・
お申込み先

【問い合わせ先】

茨城県立医療大学 浅川育世 (E-mail: asakaway@ipu.ac.jp)

【お申込先】下記URL、もしくはQRコードから必要事項をご記入の上、お申し込みください。
<https://forms.gle/wrFT6cCm9uMkJ7fD7> *お申し込み締め切り:2021/9/10(金)

* 第2部のみのお申し込みはできませんのでご注意ください。

* 申込者が多数の場合は抽選等になり、受講できないことがありますのでご了承ください。
受講者には、後日、別途メールでご連絡いたします。

